

あのね

2023

12

あのね
2023年 12月号
通巻375号
発行 福音館書店 宣伝課



絵本作家
デビュー
林明子



50周年

『はじめてのおつかい』『こんとあき』をはじめ、たくさんの絵本を手がけてきた林明子さんが今年、絵本作家デビュー50周年を迎えられました。これを記念して、幻の初期作品『しゃぼんだま』を限定復刊いたします。林明子さんの絵の魅力は、何気ないしぐさや表情など、子どもたちの生き生きとした姿。どの作品でも、主人公たちがまるでほんとうに物語の世界で生きているかのように描かれます。これまでの作品にまつわるエピソードや思い出を綴っていただきました。



絵本作りの思い出

林明子

絵本を描き始めて50年。振り返ると、一冊毎に懐かしい記憶が溢れて来ます。どの絵本も、姪や甥たちのサポートがなくては出来ませんでした。かわいい子どもたちと一緒に絵本を作り始める準備をするのが一番楽しい時間だったと思いついています。小さいとこちゃんやゆうちゃんが、粉を練ってパンを焼いてくれた日が、子どもたちに協力してもらった始まりでした。『あさえとちいさいもうと』を描き始める時は、なほちゃんがあるさえの役、かすみちゃんがちいさいもうとになって、幼い姉妹のドラマチックな世界を作ってくれました。『はっぱのおうち』の絵と同じエプロンをしたあきちゃんは、たまらなくかわいい姿で、立ったり、しゃがんだりしてくれました。ちょうどいい時に、ちょうどいいモデルに恵まれた私は、とても幸運なおばさんだっ

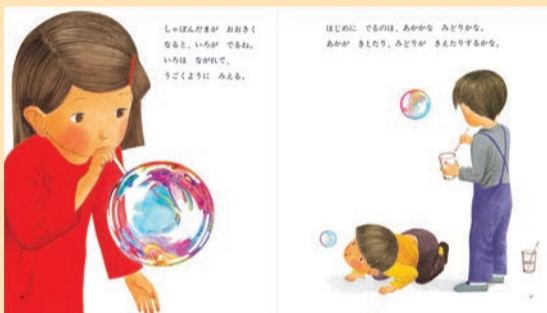


『しゃぼんだま』

小林実文／林明子 絵
定価1,100円(税込)
25×22cm／28ページ
4才から

絵本作家デビュー
林明子
50周年記念
限定復刊

内容紹介



しゃぼんだまを作ったことはありますか？しゃぼんみずとストローがあれば、どこでも、誰でも、しゃぼんだま遊びができます。大きいしゃぼんだまを作るためにはどうしたらいいでしょう？ストローの太さを変えたら、どんなしゃぼんだまができるでしょう？ストローを2本にしたら？たくさんのストローでやってみたら？紙箱でもできるかな？いろいろなしゃぼんだま遊びのヒントが隠されている絵本です。



たのだと驚いています。『おふるだいき』を描いた時には、ちっちゃいもつくんが天使のようにはだかンぼになつてくれたので、奇跡が訪れたような気持ちになりました。『おててがでたよ』で、大きなTシャツをかぶった赤ちゃんは、もつくん、妹のれいちゃんです。れいちゃん、サンタクロースの袋の中でひっくり返る役もしてくれました。私のふとんの中に3人の子どもたちが入って来て、即興のお話をせがまれた日々を思い出すと、胸がいっぱいになります。窮屈にくっつき合っていた感触がまだ温かく残っています。

ぬいぐるみの「こん」を作ったあとに、のりちゃんが生まれて、『こんとあき』の赤ちゃん役になってくれました。のりちゃんは少し大きくなると、絵を描く女の子になって絵本に登場しました。妹のゆうこちゃんと、弟のかずくんも、ふくろうにつかまれて空を飛んだり、帽子をかぶってなつはぜぼうやになったり、それぞれの物語の中でチャージングな主役になっています。子どもたちと過ごす楽しい準備時間が終わると、毎回地獄のような下描きが始まります。果てしなく描いては消す苦しみの中で、力強く私を支えてくれたのは、子どもたちの写真でした。溜め息まじりに「ありがとう」と呟きながら、徹夜をして疲れ果てた時間も、今では大切な人生の一部です。やっと下描きが終って色を塗る時は、再び子どもたちと一緒に仕



事をしていくような楽しい時間がやって来ます。やわらかい髪や、ふっくらした頬に色を付けると、楽しかった時間が蘇って来ます。優しい大人たちの協力もありました。『ズボンのクリスマス』で、びっくりしているおじさんを演じているのは父です。その時、姪の

あきちゃんが父の足の間から顔を出した瞬間は大笑いでしたが、今では記憶の宝物です。『こんとあき』の中に、祖母の姿を留めたくて、なるべくそっくりに描きました。絵本を開けばそこに、父も母も、鳥取のおばあちゃんもいて、私に笑いかけてくれます。



はやしあきこ●1945年、東京に生まれる。横浜国立大学教育学部美術科卒業。1973年、『かがくのとも』の『かみひこうき』で絵本作家デビュー。その後、絵本に『こんとあき』『はじめてのおつかい』『おでかけのまえに』『でてこい でてこい』『きょうはなんのひ?』『おふるだいき』『はっぱのおうち』『ぼくのぼん わたしのぼん』『くつくつあるけのぼん』全4冊(以上、福音館書店)などがある。長野県在住。

『しゃぼんだま』に寄せて

『しゃぼんだま』の絵本を開くと、作者の小林実先生が懐かしくてたまらなくなります。科学の知識で、子どもの遊びを、何倍も面白くしてくださる天才でした。ラップの芯を使って、大きなしゃぼんだまを作れるなんて、初めて知りました。先生のお陰で、しゃぼんだまの表面の美しさに出会うことができました。しゃぼんだまをゆっくり膨らませながら目を凝らすと、たくさんの美しい色が、絶えず動いているのが見えます。色の渦の中に漂っているような幸せを、独り占めした体験でした。子どもたちにも、この感覚を味わってもらえたらいいな!と思っています。



絵本作家デビュー 50周年 林明子の 絵本と童話



写真 浅田政志

林明子さんは、1973年「かがくのとも」の『かみひこうき』で絵本作家デビューされました。筒井頼子さんと組まれた『はじめてのおつかい』で初めて物語絵本を描かれた後は、瀬田真二さん、神沢利子さん、松岡享子さん、角野栄子さんら作家陣とともにさまざまな作品を生み出してこられました。また、1980年代半ばからは、自身の作・絵でも、赤ちゃん絵本から幼年童話まで幅広い読者に向けた作品づくりをされました。今も変わらず愛されるロングセラー絵本や童話を刊行順にご紹介いたします。

1984年 6月

はじめてのキャンプ

林明子 作
定価1,320円(税込)
104ページ

4才から

一晩ひとりで過ごす小さな女の子の成長

1985年 1月

魔女の宅急便

角野栄子 作
定価1,650円(税込)
272ページ

小学中学年から

新米魔女キキ「ひとり立ち」を目指す成長物語

1985年 4月

いってらっしゃーい いってきまーす

神沢利子 作
定価1,100円(税込)
32ページ

3才から

子どもの視線で描く、なおちやんの楽しい一日

1986年 6月

くつくつあるけ

林明子 作
定価880円(税込)
20ページ

0才から

表情豊かな描かれたくつが お出かけにぴったり

1986年 6月

おててがでたよ

林明子 作
定価880円(税込)
20ページ

0才から

一生懸命 服を着替える あかちゃんの絵本

1986年 6月

きゅつ きゅつ きゅつ

林明子 作
定価880円(税込)
20ページ

0才から

スーパースキップをきましよう

1986年 6月

おつきさまこんばんは

林明子 作
定価880円(税込)
20ページ

0才から

今夜もお月さまは 夜空を照らします

1986年 6月

くつくつあるけのほん [4冊]

林明子 作
定価3,520円(税込)

0才から

あかちゃんの生活に寄り添った4冊セット

1987年 2月

いもうとのにゅういん

筒井頼子 作
定価1,100円(税込)
32ページ

3才から

ちよつぱり お姉さんになった あさえの物語

1987年 10月

ふたつのいちご

林明子 作
定価605円(税込)
28ページ

3才から

2つのいちごを 探してみよう

1987年 10月

サンタクロースとれいちゃん

林明子 作
定価605円(税込)
28ページ

3才から

クリスマス夜の夜、サンタさんを探して行くこと...

1987年 10月

ズボンのクリスマス

林明子 作
定価605円(税込)
28ページ

3才から

もっくんのズボンが 勝手に外に飛び出します!

1987年 10月

クリスマスの三つのおくりもの [3冊]

林明子 作
定価1,815円(税込)

3才から

手のひらサイズのクリスマス絵本3冊セット

1988年 1月

おいでかないで

筒井頼子 作
定価990円(税込)
24ページ

2才から

お兄ちゃんと一緒に遊ぼう、妹のあやこのお話

1989年 2月

とん ことり

筒井頼子 作
定価1,100円(税込)
32ページ

4才から

新しいお友達との 出会いを描いた絵本

1989年 5月

はっぱのおうち

征矢清 作
定価990円(税込)
24ページ

2才から

女の子と生きものたちの ささやかな交流

1989年 6月

こんとあき

林明子 作
定価1,430円(税込)
40ページ

4才から

ぬいぐるみのこんと 女の子あきの 冒険の物語

1991年 7月

10までかぞえられるこやぎ

アルフ・ブレイセン 作/山内清子 訳
定価1,320円(税込)
32ページ

4才から

数を覚えた こやぎの楽しいお話

1997年 8月

まほうのえのぐ

林明子 作
定価1,100円(税込)
32ページ

3才から

絵をかき楽しさ広がる ファンタジー絵本

1998年 4月

でてこい でてこい

はやしあき 作
定価880円(税込)
20ページ

0才から

色紙に呼びかけると 動物たちが飛び出します

2002年 10月

なないろ山のひみつ

征矢あおる 作
定価1,320円(税込)
72ページ

5・6才から

みずみずしい 感覚の幼年向け ファンタジー

2003年 4月

林明子 絵はがきの本

林明子 絵
定価1,100円(税込)
20ページ

3才から

作者自身が選んだ 絵本の名場面が 絵はがきに!

2017年 3月

ひよこさん

征矢清 作
定価990円(税込)
20ページ

0才から

幸せな気持ちに 包まれる あかちゃん絵本

2021年 10月

くつくつあるけのほんセット(4冊)

林明子 作
定価3,960円(税込)

0才から

出産祝いやギフトにも おすすめ

12月の新刊

きみのいちばん好きなでんしゃ、どーれ?

でんしゃ すきなどーれ

岡本雄司 作
定価990円(税込) / 24ページ

2才から

電車の顔やたち、模様はいろいろ。版画で刷った絵を貼りがさねて画面を作る手法で、たくさん電車を図鑑的に描いた絵本です。

“じごく”が新入社員を大募集!

オニのサラリーマン じごくのしんにゅうしゃいん

富安陽子 文/大島妙子 絵
定価1,760円(税込) / 36ページ

5・6才から

“じごく”に入社した3びきのオニ。新オニ研修では一般常識テストに職場体験、三途の川のお掃除に奮闘。そして歓迎会では...

福音館の月刊誌 1月号のご紹介

ピックアップ!

こどものとも 年中向き 定価440円(税込) / 32ページ

おせち

内田有美文・絵
満留邦子 料理
三浦康子 監修

「くろまめ、びかびか あまいまめ。まめまめしくくらせますように」など、おせち料理をひとつひとつ紹介しながら、料理に込められた願いがわかる絵本。精緻で美しく描かれたおせちが並ぶ場面は圧巻です。

こどものとも 0.1.2. 10ヵ月~2才向き 定価440円(税込) / 22ページ

ふうふうおいしいね

たしちさと 作

温かいものをふうふうして食べる姿を描いたおいしい食べ物絵本!

こどものとも 年少版 定価440円(税込) / 24ページ

うさぎのおとうさんが 買ったへんなくるま

へんみあやか 作

うさぎのおとうさんが買ったへんな車、どこがへんなのでしょうか?

こどものとも 定価440円(税込) / 32ページ

すもうとりのでし

ねじめ正一 文/大高郁子 絵

すもうが弱い弟のため、親方は考えた。そうだ、動物と稽古だ!

ちいさな かがくのとも 定価440円(税込) / 24ページ

しも

瀬口たまみ 文/斉藤俊行 絵

寒い朝。あれ、外が白いよ。まるでお砂糖の粉をかぶったみたい。

5~6才向き

かがくのとも 定価440円(税込) / 28ページ

いっしょにいるヤドカリとイソギンチャク

大村文乃 文・絵

海の底でお互いに助け合う、ヤドカリとイソギンチャクをご紹介します。

小学3年生から

たくさんのふしぎ 定価770円(税込) / 40ページ

食べる

藤原辰史 文/スケラッコ 絵

「食べるとは何か?」を考えると、食事が味わい深く、楽しくなる。

おとなの方に

母の友 定価700円(税込) / 84ページ

特集「笑っていきましょう」

人生いろいろ大変なこともあります。でも、だから、笑えるときには、笑っていきましょう。笑いとお互いの関係についてや、子どもと一緒に笑った本の話など。